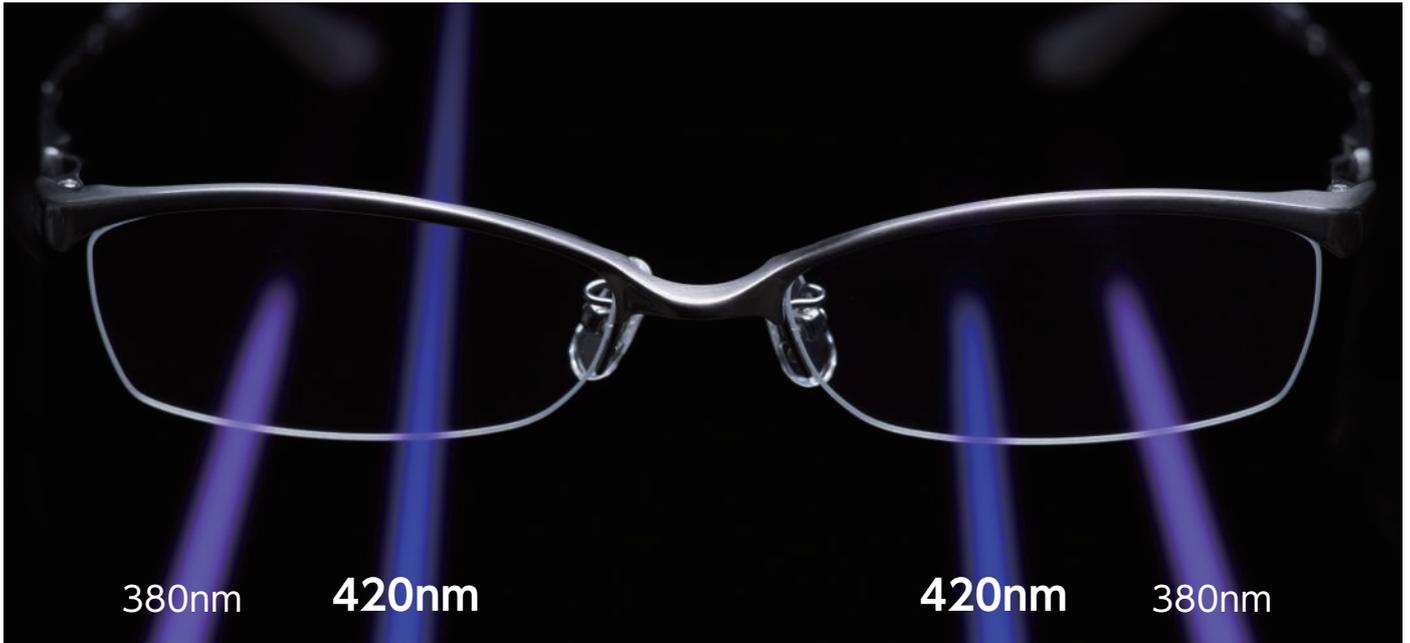


UV+420cut™

クリアレンズで、将来の目の健康をサポート

紫外線に加え、400nm～420nmもの高エネルギー可視光線(HEV)もカットする技術です。
加齢と共に発症する眼病には、これらの波長を早いうちからブロックすることが重要だと指摘されています。

※写真はイメージです。



380nm

420nm

420nm

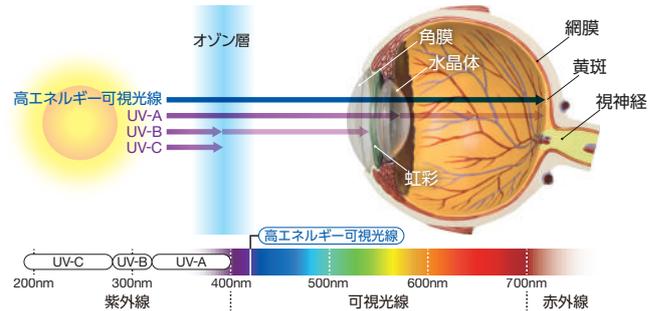
380nm

一般のUVカットレンズ

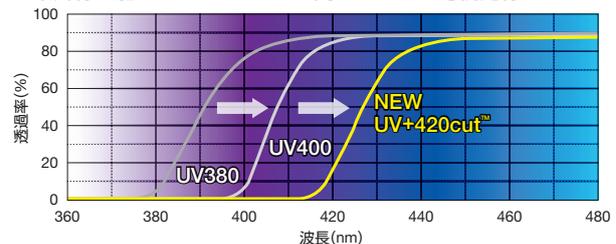
UV+420cut™ 技術使用のレンズ

- 強い紫外線は短期的には角膜炎、長期的には白内障の原因となり、網膜まで届く高エネルギー可視光線(HEV)は、長期的には加齢性黄斑変性症の原因のひとつとなる可能性があります。*1
- 特に水晶体が透明な若い世代の網膜は、ダメージを受けやすくなっています。*1
- 紫外線の量は、うす曇りの日でも晴れの日の8～9割、曇りで6割、雨で3割ほど。*2
クリアなレンズは、全天候に対応可能です。

■ 網膜まで届いてしまう高エネルギー可視光線(HEV)



■ 紫外線に加え400～420nmの高エネルギー可視光線もカット



*1 ドレスデン大学 Dr. Richard H.W.Funk他の複数論文を基にした弊社技術資料による *2 気象庁による

